

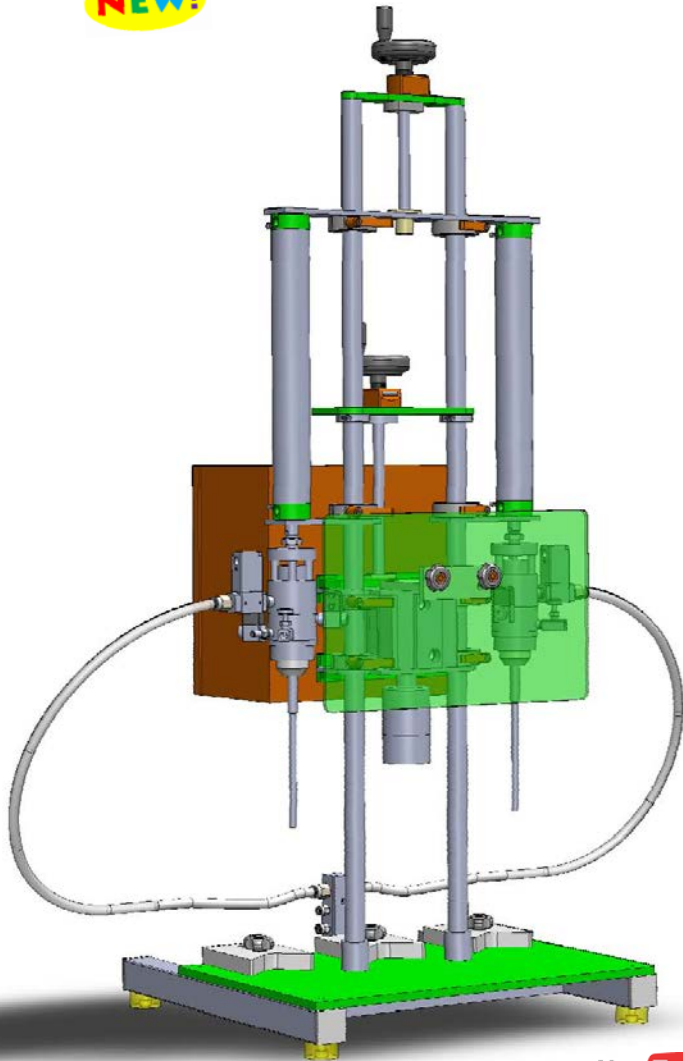
2+1 ver.4

COUNTER PRESSURE FILLER / CROWNER

ROOTS

半自動カウンタプレッシャ充填機「2+1 フィラー ver.4」

NEW!



3D illustrations by a. miyama

YouTube

- 2本ヘッドの充填機と中央の1本ヘッドの王冠打栓機が一体になった合理的構造。クラフトビール、ガス入り清酒・リキュールなどにシリーズ全体で100台以上の納入実績（2015年時点）が、信頼の証しです。
- 「ver.4」の特徴：サニタリー性を確保しながら「液切れ」を改善。ビールでは避けがたかったボタ落ちが大幅減少。1人作業で200-300本/h（330mlラスのびんの場合）の生産が効率よくできます。
- 昇降ハンドルで壇の高さ変更が簡単。充填部、打栓部が個別に高さ変更可能。充填前のびん内プリパージ機構付き。一般的なラガービール程度の炭酸ガス含有量（2.7～2.8GV）の充填に適します。単式王冠のほかマキシキャップの打栓も対応可能。
- 液のオーバーフローを目視確認して手動で充填停止。（自動停止のBFシリーズもあります。）



CROWN



MAXI CAP

	ROOTS 2+1 ver.4	ROOTS BF IV & V
推奨炭酸ガス含有量（上限）	2.7～2.8GV	3.5～4.5GV まで充填可能（0.3～0.35MPaでの送液圧が条件）
満注後の充填終了の方法	液のオーバーフローを目視確認して、手動で充填を停止	圧力センサー（IV）または流量計（V）で、自動充填停止

- 「2+1 フィラー」は、96年にアメリカTCW社がオリジナル機を開発したもの。TCWが生産したほとんどの2+1フィラーは当社が日本市場向けに販売し、また、ルーツ機械研究所とTCWが共同で技術改善と6回のモデルチェンジを重ね、クラフトビールでベストセラーの一つとなりました。
- TCWが生産中止をした2002年からは、制御方式をプロコン（コンピューター）制御に変更して、ルーツ機械研究所製の「ROOTS 2+1 フィラー」として継続。制御方式やバルブ構造など細部構造の見直しを積み重ねて信頼性を高め、Ver.2、3、4と進化。TCW世代から通算すると10代目になります。

※当機の仕様、能力などは、改善・改良のため予告なく変更することがあります。

